

## 台湾 BSMI: ネットワーク機器等に対するサイバーセキュリティ要求

BSMI（台湾經濟部検験局）は 2026 年 10 月 2 日付の公告にて、ネットワーク機能を持つ指定の品目に対するサイバーセキュリティ規制の正式決定内容を発表しました。

原文リンク: <https://www.bsmi.gov.tw/wSite/public/Data/f1790932691717.pdf>

今回の改正では、従来から BSMI の認証対象品であったデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、隠しカメラ、ルーター等のネットワーク機器などを対象として、サイバーセキュリティ要求が追加されたほか、これまで BSMI の規制対象外だった一部の製品も新たに認証取得の対象となりました。

今回の公告に含まれる製品の多くは従来から電気安全や EMC、RoHS 規格に適合したうえで BSMI 認可を申請することとされていましたが、新たにセキュリティ規格への適合要求が追加された形となります。また、従来は要求のなかった工場監査も必要となります（RPC 認証の場合）。

一部の例外を除き、セキュリティ規格の全面適用は 2028 年 7 月 1 日となります。

### 1. セキュリティ規格が適用される製品

以下の品目のうち、ネットワーク機能を持つもの

- ・ビデオカメラ
- ・隠しカメラ
- ・ルーター
- ・通信機器（ルーター、ブリッジ、スイッチ、ネットワークハブ、ゲートウェイ）
- ・映像再生装置、映像録画装置
- ・ディスプレイ
- ・テレビ

※注 1 医療機器または電信端末設備に該当するものを除く)

※注 2 ネットワーク機能の定義：

「TCP/IP を使用してネットワークに接続・通信する機器」

## 2. 従来から BSMI 認証対象であった製品の扱い

### 【取得済み認証書の扱い】

2028 年 7 月 1 日から、新しい試験規格・検査方式が全面適用されます。  
そのため、従来の試験規格・検査方式で取得した認証書は 2028 年 6 月 30 日までに新しい要求事項に対応し、認証書の切り替え発行を申請する必要があります。  
期限までに切り替えを行わないものは認証書が取り消されます。

### 【新規申請】

公告日(2026 年 10 月 2 日)から、新しい試験規格・検査方式による申請が可能です。新しい試験規格・検査方式で取得した証書の有効期間は 3 年間です。  
一方、2028 年 6 月 30 日までは、従来の試験規格・検査方式による申請も可能ですが、その証書の有効期限は 2028 年 6 月 30 日までとなります。  
2028 年 7 月 1 日以降は、新しい試験規格・検査方式への適合が必須となります。

## 3. 新たに規制対象となった製品の扱い

### (1) データ保存機能のないデジタルカメラ／デジタルビデオカメラ

従来は検査対象外だった「ストレージ機能を持たないデジタルビデオカメラおよびデジタルカメラ」について、2028 年 7 月 1 日から認証取得が義務付けられます。認証の申請は公告日(2026 年 10 月 2 日)から可能とされていますが、認証書の発行日が 2028 年 6 月 30 日以前となる場合は、認証書の有効期限は 2028 年 7 月 1 日から 3 年間とされます。

### (2) ストレージ機能を持たない隠しカメラ(カメラモジュール含む)

2026 年 10 月 2 日から認証取得が義務付けられました。  
(ストレージ機能のある隠しカメラは従来から対象品)

## 4. 通信機器(ルーター、ブリッジ、スイッチ、ネットワークハブ、ゲートウェイ)

従来は認証取得の要求はなく、「台湾法人による適合宣言」の対象品目でしたが、2028 年 7 月 1 日以降は新しい試験規格・検査方式が適用され、認証申請が必須となり、セキュリティ規格への適合も必要になります。  
既存の「適合証明書」は 2028 年 6 月 30 日に失効します。

以上

規制・認証に関する最新かつ正確な情報については、必ず関係当局が公表する最新の原文・公式情報をご確認ください。